



大人のきものメイク

2018年11月

朝晩は冷えこむようになり、冬を感じる季節となりました。年末年始ももうすぐです。お正月に向けて、きものを着る方も多いのではないのでしょうか。

そこで今回は、きものに合わせたメイクとヘアスタイルをご紹介します。お子さんの入学式や卒業式など、きものを着る際にも応用できるので、ぜひ参考にしてみてください。

◆メイク

近年は、つくりこみ過ぎない、ナチュラルなメイクが好まれています。そのため、きものを着るからといって、明るいファンデーションをしっかりと塗り、アイライナーで切れ長の目をつくり、口紅は赤色、といった特別なメイクをする必要はありません。しかし、きものを着るにふさわしい場所やイベントには、きちんと感のあるメイクを施すことが大切です。今回は、“上品なやさしいお母さん”をイメージして、アドバイスをします。

ベースメイク

きものを着る際は、流行のツヤやかな肌より、ほどよいツヤ感のあるセミマット肌が上品な印象となるのでおすすめです。ファンデーションはリクイドタイプを使用することで、きちんとした印象と自然なツヤが演出できます。ポイントは、よく動く目のまわり・口のまわりは薄く、小鼻・口角など塗りもれしがちな部分にも、丁寧に塗ること。仕上げにフェイスパウダーを使い、ベタつきを抑えれば、肌に透明感が出て、上品な肌が完成します。化粧持ちもよくなりますよ。

チークは、コーラル系など肌なじみのよい色を選びましょう。頬骨を中心にふんわりと入れることで、ほんのり血色感が出て肌がいきいきとして見えます。今回は、モデルさんの肌の色に合わせてピンクコーラルを使用しました。



目もと

アイシャドウはブラウンやピンクなど、ナチュラルな色でグラデーションをつくるのがおすすめです。ラメや派手な色は避け、きものや帯の中の一色を使用するとよいでしょう。アイラインは、黒ではなくブラウンを使うと、目もとがきつくなりすぎず、やさしい印象になります。眉は、水平もしくはゆるめのアーチを描きます。さらに、やや太めを意識して描くと、よりやさしい雰囲気になります。

口もと

口紅は、落ち着いた色味で発色がよく、ツヤを抑えたものを選びましょう。きものの華やかさに負けない凛とした美しい口もとになります。リップラインはあまり山を強調せず、ご自身の唇の形に合わせて描きます。今回は、スティックタイプの口紅のコーラルレッドを使用しました。

◆ヘアスタイル

きものには、襟元をすっきり見せたヘアスタイルがおすすめです。髪の毛の長い方は、低めの位置でまとめると、上品で落ち着いた印象になります。自分でヘアアレンジする場合には、特別凝った髪型にしなくても、髪をねじったり三つ編みを組み合わせたりすることで、十分きものに合うスタイルになります。セットする前に、コテなどで軽く髪を巻いておくと、アレンジしやすくなります。仕上げにスプレーを使って、ヘアスタイルをより美しくキープしましょう。



◆ 上品なお母さんのための和装 ◆ 情報提供：株式会社鈴乃屋

七五三、入学式、卒業式などの式典には、訪問着や色無地等のフォーマルなきものが適しています。和装には洋服のようにはっきりとしたトレンドはないので、TPOに合わせた「格」、季節に合う柄などを選ぶのがよいでしょう。

きものは、合わせる帯や小物のアレンジによって、イメージががらりと変わります。年齢を重ねた方は、合わせる襟や帯締めなどの色みを変えることで、同じきものを長く楽しむことができますし、たとえばお母さんから譲り受けたきものも新しいイメージで着こなすことが可能です。

今回の撮影では、お子さんの晴れの日に付き添う上品でやさしいお母さんのイメージを、モデルさんの雰囲気に合わせて色使いでアレンジしました。やさしい色調のイエローの訪問着に、おだやかな色を織り交ぜたゴールドの帯、さりげない刺繍が施された半衿、サーモンピンクとゴールドの重ね襟の組み合わせで、若々しく華やかな印象を演出しています。同じきものでも、観劇などのお出かけの際には、帯の色に黒や紫などを選ぶとグッとシックに着こなせます。

きものと帯の組み合わせや、小物のアレンジは、和装に慣れていないと難しいという印象があるかもしれません。店頭では、こういった着こなしのアドバイスも行っていますので、気軽に足を運んでみてください。

【きもの選びで迷ったら】<https://www.suzunoya.com/>